

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 特別活動推進経費（小学校）
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称						
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち						
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む						
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり						
小分類	1	特色ある教育活動の推進						
主要な施策	3	体験活動の充実						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f8d7da;">事務事業コード</td> <td>52213001</td> <td style="background-color: #d4edda;">事業開始年度</td> <td>平成 1 4 年度</td> <td style="background-color: #d4edda;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	52213001	事業開始年度	平成 1 4 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	52213001	事業開始年度	平成 1 4 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	特別活動推進経費（小学校）
------	------	------------	---------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。</p>
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>学校の実態や児童の発達段階などを考慮し、特別活動を通して児童による自主的・実践的な活動を助長する。</p> <p style="margin-left: 20px;">小学校における特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動 ・児童会活動 ・クラブ活動 ・学校行事
成果	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、お互いに協力してより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #fff3cd; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	児童数	人	目標値	2,555	2,524	2,491	2,501	2,440
			実績値	2,555				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	238	240	240	240	240	720
合 計			238	240	240	240	240	720
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	398	409			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		398	409			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 特別活動は、学習指導要領で実施が定められており、市がその活動を助長することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 特別活動では、学校行事、児童会活動、クラブ活動等において、児童が所属する集団が、学級ごと、学年ごと、学校全体などに変わり、求められる役割も変わる。 集団の一員として、協力しあうことの大切さを学ぶことができる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 児童が自主的に活動できるよう、集団の構成等に配慮する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 必要最低限の経費で事業を行うよう努めているが、本事業の経費には、運動会、学芸会といった諸行事の経費も含まれており、削減により保護者の負担が増えることも考えられるため削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度を育てるために必要な事業である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）